

＜伊勢湾フォーラムによるセントレアと大野町の合同植樹活動への参加報告＞

令和5年6月5日

NPO法人伊勢湾フォーラムは、令和4年10月、セントレアの事業パートナーとなり、空港島周辺の豊かな海を未来につなぐSDGsの取り組みを行っている。

取り組みの第一弾として、昨年度は地元漁業者の方々と連携した海編「豊かな海づくり」を行い、第二弾として、令和5年6月5日(月)、森編「豊かな海づくりにつながる森づくり」と題し植樹を行い、伊勢湾の環境保全に掛かる啓発活動を行った。

植樹活動は、セントレア開港以来20年の交流が続く岐阜県揖斐郡大野町の協力を得て、揖斐川上流域での植林による「森づくり」として、落葉広葉樹(コナラとクヌギ)を植樹した。昼食は地元食材である鮎(塩焼き・鮎ご飯)や鹿肉、味噌カツ等のお弁当が配られ、豊かな森の恵みを体感した。



当日は、主催者である中部国際空港会社(セントレア)職員、岐阜県大野町職員とNPO法人伊勢湾フォーラム職員・会員の他、中部地方整備局名古屋港湾事務所職員やサントリー(株)、野地区自治会、里山会、地元の大野町小学校の4年生が参加しており、本取組が多様な参加者による環境創造・保全活動や環境教育の場となっている。



【活動時間】 令和5年6月5日(月) 8:00~15:00

【行程】 8:00 名古屋駅集合後、バスにて大野町へ移動、10:30 開会セレモニー、11:00 植樹、12:00 閉会セレモニー・記念撮影・昼食、13:00 バスにて名古屋へ向けて移動

【参加者】 120~150名(申込時)

【セレモニーの様子】



植樹場所全景



開会のセレモニー(上用理事長挨拶)



記念撮影(伊勢湾フォーラムチーム)



記念の看板

【植樹の様子】



名古屋からバス乗車後、大野町バスに乗り換え



バスを降りて森の中に分け入り



軍手と水を受け取り準備OK



雨水が溜まるように窪みをつけて



鹿に食べられないように網で囲う

↓↓多様な団体が協働して↓↓



約 150 本のコナラとクヌギの苗木を植樹

一般財団法人みなと総合研究財団 調査研究部 榎並万里子